

短期大学機関別認証評価 評価基準 新旧対照表

変更箇所	新	旧
P1	基準 1. 使命・目的等 1－1. 使命・目的及び教育目的の設定 1-1-①意味・内容の具体性と明確性 1-1-②簡潔な文章化 1-1-③個性・特色の明示 1-1-④変化への対応	基準 1. 使命・目的等 1－1. 使命・目的及び教育目的の明確性 1-1-①意味・内容の具体性と明確性 1-1-②簡潔な文章化 1－2. 使命・目的及び教育目的の適切性 1-2-①個性・特色の明示 1-2-③変化への対応
P1	1－2. 使命・目的及び教育目的の反映 1-2-①役員、教職員の理解と支持 1-2-②学内外への周知 1-2-③中長期的な計画への反映 1-2-④三つのポリシーへの反映 1-2-⑤教育研究組織の構成との整合性	1－3. 使命・目的及び教育目的の有効性 1-3-①役員、教職員の理解と支持 1-3-②学内外への周知 1-3-③中長期的な計画及び3つの方針等への使命・目的及び教育目的の反映 1-3-④使命・目的及び教育目的と教育研究組織の構成との整合性
P2	基準 2. 学生 2－1. 学生の受入れ 2-1-①教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知 2-1-②アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの実施とその検証 2-1-③入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持	基準 2. 学修と教授 2－1. 学生の受入れ 2-1-①入学者受入れの方針の明確化と周知 2-1-②入学者受入れの方針に沿った学生受入れ方法の工夫 2-1-③入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持
P2	2－2. 学修支援 2-2-①教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備 2-2-②TA(Teaching Assistant)等の活用をはじめとする学修支援の充実	2－3. 学修及び授業の支援 2-3-①教員と職員の協働並びに TA(Teaching Assistant)等の活用による学修支援及び授業支援の充実
P2	2－3. キャリア支援 2-3-①教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備	2－5. キャリアガイダンス 2-5-①教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する指導のための体制の整備

P2	2-4. 学生サービス 2-4-①学生生活の安定のための支援	2-7. 学生サービス 2-7-①学生生活の安定のための支援 2-7-②学生生活全般に関する学生の意見・要望の把握と分析・検討結果の活用
P2	2-5. 学修環境の整備 2-5-①校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理 2-5-②実習施設、図書館等の有効活用 2-5-③バリアフリーをはじめとする施設・設備の利便性 2-5-④授業を行う学生数の適切な管理	2-9. 教育環境の整備 2-9-①校地、校舎、設備、実習施設、図書館等の教育環境の整備と適切な運営・管理 2-9-②授業を行う学生数の適切な管理
P2	2-6. 学生の意見・要望への対応 2-6-①学修支援に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用 2-6-②心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用 2-6-③学修環境に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用	2-7. 学生サービス 2-7-①学生生活の安定のための支援 2-7-②学生生活全般に関する学生の意見・要望の把握と分析・検討結果の活用
P3	基準3. 教育課程 3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定 3-1-①教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーの策定と周知 3-1-②ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の策定と周知 3-1-③単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の厳正な適用	2-4. 単位認定、卒業・修了認定等 2-4-①単位認定、進級及び卒業・修了認定等の基準の明確化とその厳正な適用
P3	3-2. 教育課程及び教授方法 3-2-①カリキュラム・ポリシーの策定と周知 3-2-②カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの一貫性 3-2-③カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成 3-2-④教養教育の実施 3-2-⑤教授方法の工夫・開発と効果的な実施	2-2. 教育課程及び教授方法 2-2-①教育目的を踏まえた教育課程編成方針の明確化 2-2-②教育課程編成方針に沿った教育課程の体系的編成及び教授方法の工夫・開発 2-8. 教員の配置・職能開発等 2-8-①教育目的及び教育課程に即した教員の確保と配置 2-8-②教員の採用・昇任等、教員評価、研修、FDをはじめとする教員

		<p>の資質・能力向上への取組み</p> <p>2-8-③教養教育実施のための体制の整備</p>
P3	<p>3-3. 学修成果の点検・評価</p> <p>3-3-①三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用</p> <p>3-3-②教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバック</p>	<p>2-6. 教育目的の達成状況の評価とフィードバック</p> <p>2-6-①教育目的の達成状況の点検・評価方法の工夫・開発</p> <p>2-6-②教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての評価結果のフィードバック</p>
P4	<p>基準4. 教員・職員</p> <p>4-1. 教学マネジメントの機能性</p> <p>4-1-①大学の意思決定と教学マネジメントにおける学長の適切なリーダーシップの確立・発揮</p> <p>4-1-②権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した教学マネジメントの構築</p> <p>4-1-③職員の配置と役割の明確化などによる教学マネジメントの機能性</p>	<p>基準3. 経営・管理と財務</p> <p>3-3. 大学の意思決定の仕組み及び学長のリーダーシップ</p> <p>3-3-①大学の意思決定組織の整備、権限と責任の明確性及びその機能性</p> <p>3-3-②大学の意思決定と業務執行における学長の適切なリーダーシップの発揮</p> <p>3-5. 業務執行体制の機能性</p> <p>3-5-①権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した組織編制及び職員の配置による業務の効果的な執行体制の確保</p> <p>3-5-②業務執行の管理体制の構築とその機能性</p> <p>3-5-③職員の資質・能力向上の機会の用意</p>
P4	<p>4-2. 教員の配置・職能開発等</p> <p>4-2-①教育目的及び教育課程に即した教員の採用・昇任等による教員の確保と配置</p> <p>4-2-②FD(Faculty Development)をはじめとする教育内容・方法等の改善の工夫・開発と効果的な実施</p>	<p>2-8. 教員の配置・職能開発等</p> <p>2-8-①教育目的及び教育課程に即した教員の確保と配置</p> <p>2-8-②教員の採用・昇任等、教員評価、研修、FDをはじめとする教員の資質・能力向上への取組み</p> <p>2-8-③教養教育実施のための体制の整備</p>
P4	<p>4-3. 職員の研修</p> <p>4-3-①SD(Staff Development)をはじめとする大学運営に関わる職員の資質・能力向上への取組み</p>	<p>3-5. 業務執行体制の機能性</p> <p>3-5-①権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した組織編制及び職員の配置による業務の効果的な執行体制の確保</p> <p>3-5-②業務執行の管理体制の構築とその機能性</p> <p>3-5-③職員の資質・能力向上の機会の用意</p>
P4	<p>4-4. 研究支援</p> <p>4-4-①研究環境の整備と適切な運営・管理</p> <p>4-4-②研究倫理の確立と厳正な運用</p>	<p>該当なし</p>

	4-4-③研究活動への資源の配分	
P5	基準 5. 経営・管理と財務 5-1. 経営の規律と誠実性 5-1-①経営の規律と誠実性の維持 5-1-②使命・目的の実現への継続的努力 5-1-③環境保全、人権、安全への配慮	3-1. 経営の規律と誠実性 3-1-①経営の規律と誠実性の維持の表明 3-1-②使命・目的の実現への継続的努力 3-1-③学校教育法、私立学校法、大学設置基準をはじめとする大学の設置、運営に関連する法令の遵守 3-1-④環境保全、人権、安全への配慮 3-1-⑤教育情報・財務情報の公表
P5	5-2. 理事会の機能 5-2-①使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制の整備とその機能性	3-2. 理事会の機能 3-2-①使命・目的の達成に向けて戦略的意思決定ができる体制の整備とその機能性
P5	5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック 5-3-①法人及び大学の各管理運営機関の意思決定の円滑化 5-3-②法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックの機能性	3-4. コミュニケーションとガバナンス 3-4-①法人及び大学の各管理運営機関並びに各部門間のコミュニケーションによる意思決定の円滑化 3-4-②法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックによるガバナンスの機能性 3-4-③リーダーシップとボトムアップのバランスのとれた運営
P5	5-4. 財務基盤と収支 5-4-①中長期的な計画に基づく適切な財務運営の確立 5-4-②安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保	3-6. 財務基盤と収支 3-6-①中長期的な計画に基づく適切な財務運営の確立 3-6-②安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保
P5	5-5. 会計 5-5-①会計処理の適正な実施 5-5-②会計監査の体制整備と厳正な実施	3-7. 会計 3-7-①会計処理の適正な実施 3-7-②会計監査の体制整備と厳正な実施
P6	基準 6. 内部質保証 6-1. 内部質保証の組織体制 6-1-①内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立	該当なし
P6	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価 6-2-①内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価の実施とその結果の共有 6-2-②IR(Institutional Research)などを活用した十分な調査・データの収集と分析	基準 4. 自己点検・評価 4-1. 自己点検・評価の適切性 4-1-①大学の使命・目的に即した自主的・自律的な自己点検・評価 4-1-②自己点検・評価体制の適切性 4-1-③自己点検・評価の周期等の適切性

		<p>4-2. 自己点検・評価の誠実性 4-2-①エビデンスに基づいた透明性の高い自己点検・評価 4-2-②現状把握のための十分な調査・データの収集と分析 4-2-③自己点検・評価の結果の学内共有と社会への公表</p> <p>4-3. 自己点検・評価の有効性 4-3-①自己点検・評価の結果の活用のための PDCA サイクルの仕組みの確立と機能性</p>
P6	<p>6-3. 内部質保証の機能性 6-3-①内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体の PDCA サイクルの仕組みの確立とその機能性</p>	該当なし
	削除	<p>基準 1. 使命・目的等 1-1. 使命・目的及び教育目的の明確性 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） ・使命・目的、教育目的等を示す資料</p>
	削除	<p>1-2. 使命・目的及び教育目的の適切性 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） ・個性・特色に関する大学の自己認識を示す資料（関係部分） ・使命・目的、教育目的の改定があれば、その改定の理由と経緯を示す資料</p>
	削除	<p>1-3. 使命・目的及び教育目的の有効性 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） ・使命・目的及び教育目的の策定及び改定への役員、教職員の関与・参画の状況を示す資料 ・使命・目的及び教育目的を学内外へ周知するための方法・手段を示す資料 ・中長期的な計画及び 3 つの方針等と使命・目的並びに教育目的との関係を示す資料 ・教育研究組織に関する規程及びその構成を示す資料</p>
	削除	基準 2. 学修と教授

		2-1. 学生の受入れ エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・入学者受入れの方針を示す資料 ・入学者受入れの方針と入学者受入れ方法との関連を示す資料 ・収容定員及び入学定員と学生数の現状との対比を示す資料
	削除	2-2. 教育課程及び教授方法 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成方針を示す資料 ・登録単位数の上限設定など履修上の条件と制限等を示す資料 ・教授方法の工夫・開発の具体例を示す資料 ・単位制の趣旨を保つための工夫（教室外学修の指示等）を示す資料
	削除	2-3. 学修及び授業の支援 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・学修支援及び授業支援に関する方針・計画・実施体制を示す資料 ・職員・TA等による学修及び授業等の支援体制を示す資料 ・退学、停学、留年等の実態及び原因分析、改善方策の検討状況等を示す資料
	削除	2-4. 単位認定、卒業・修了認定等 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定等学生評価の公平性のための工夫、GPA等の活用状況を示す資料 ・学位授与方針や学位授与基準及び学位審査手続きの実際を示す資料
	削除	2-5. キャリアガイダンス エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアガイダンスに関する教育課程上及びその他の教育としての取組み状況を示す資料 ・就職・進路先の実態及びその取組み状況を示す資料
	削除	2-6. 教育目的の達成状況の評価とフィードバック エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・教室内外の学修状況に関する学生アンケート調査等を分析した資料 ・教育目的の達成状況の評価に関する研究又はその評価結果の分析及び

		教育改善へのフィードバックを示す資料
	削除	2-7. 学生サービス エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室、医務室等の利用状況を示す資料 ・奨学金給付・貸与状況を示す資料 ・学生の課外活動等への支援状況を示す資料 ・社会人、編入、転入学生等への支援状況を示す資料 ・学生生活全般についての満足度調査及びその分析結果、あるいは学生から要望を汲上げる仕組みに関する資料
	削除	2-8. 教員の配置・職能開発等 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・大学設置基準及び職業資格関連の指定基準と現状との対比を示す資料 ・教員組織編制方針、教員の採用、昇任、異動の方針等に関する資料 ・FD(Faculty Development)実施計画及びその実施体制・実施状況を示す資料 ・教員研修計画及びその実施状況を示す資料 ・教員評価制度の実施状況及び結果の活用状況を示す資料 ・教養教育実施体制の現況と活動状況を示す資料
	削除	2-9. 教育環境の整備 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備に関する大学設置基準と現状との対比を示す資料 ・教育環境に関する学生満足度調査の結果を示す資料 ・施設設備の安全管理、メンテナンスに関する規程、運用方針、運用計画等及び管理体制を示す資料 ・授業（講義、演習、実験等）のクラスサイズを示す資料
	削除	基準3. 経営・管理と財務 3-1. 経営の規律と誠実性 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・経営の基本方針として経営の規律と誠実性の維持を表明した資料、組織の倫理・規律に関する綱領・規程等 ・大学の設置・運営に関する法令・通知等の内容と大学の現況との対比

		<p>を示す資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全、人権、安全に関する方針、計画、具体的措置を示す資料 ・法人及び大学の運営状況に関する情報の公表の状況（項目、内容、手段等）を示す資料
	削除	<p>3-2. 理事会の機能 エビデンスの例示（評価の根拠となる資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機動的・戦略的意思決定のための仕組み（常務理事会、政策調整機関等）を示す資料 ・理事会機能の補佐体制を示す資料 ・理事会権限委任、理事の職務分担等を示す資料
	削除	<p>3-3. 大学の意思決定の仕組み及び学長のリーダーシップ エビデンスの例示（評価の根拠となる事実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の意思決定組織及び構成員、各意思決定組織の権限に関する規程 ・学長のリーダーシップを支える仕組み（権限の明確化、学長補佐体制、調査、企画部門の整備等）を示す資料
	削除	<p>3-4. コミュニケーションとガバナンス エビデンスの例示（評価の根拠となる事実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理部門と教学部門との意思疎通と連携を保つための仕組みとその実効性を示す資料 ・法人の業務、財産及び役員の業務執行の状況等に対する監事の意見等を示す資料 ・監事の選任状況及び職務執行の状況を示す資料 ・評議員会への諮問状況を示す資料 ・教職員からの情報や提案が生かされる仕組み及びその実施状況を示す資料
	削除	<p>3-5. 業務執行体制の機能性 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の業務執行体制及び大学の教育研究支援体制の編制方針と現状を示す資料 ・職員の経営・教学組織への参画の状況、教職協働の実施状況を示す資料

		<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行の管理体制（担当役員制、目標管理制度、事業評価等）を示す資料 ・職員の職能開発のための SD(Staff Development)の計画、実施状況、人事評価・育成制度等を示す資料
削除		3-6. 財務基盤と収支 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画、予算編成方針及び財務指標等を示す資料 ・中長期的な計画及びその裏づけとなる財務計画を示す資料 ・消費収支計算書関係比率（法人全体及び大学単独）、貸借対照表関係比率（法人全体）、決算等の計算書類（過去5年間） ・予算書、財産目録など（最新のもの） ・金融資産の運用状況（過去5年間）
削除		3-7. 会計 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・監査報告書、理事会議事録（評議員会を含む）、資産運用規程
削除		基準4. 自己点検・評価 4-1. 自己点検・評価の適切性 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・自主的・自律的な自己点検・評価の項目を示す資料 ・自己点検・評価のための組織及びその学内の位置付け等に関する資料
削除		4-2. 自己点検・評価の誠実性 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・IR(Institutional Research)機能の構築及び活動状況を示す資料 ・自己点検・評価及び認証評価の結果の共有と社会への公表の状況を示す資料
削除		4-3. 自己点検・評価の有効性 エビデンスの例示（評価の根拠となる事実） <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・評価及び認証評価を改善・向上につなげる仕組みとその運営 ・自己点検・評価及び認証評価の結果の活用状況を示す資料